

## ■外観イメージ

### ◆基本的な考え方(H28.2 北海道)

議会庁舎が所在する道庁周辺地区は、道政の中核機能としての位置付けのほか、開拓使当時の面影を残す道庁前庭を擁するなどの特性を備えた場所となっている。

また、平成14年に札幌市が策定した「都心まちづくり計画」においては、歴史的価値を継承し、新たな魅力の創出を目標としたエリアとして位置づけられている。

このため、議会庁舎の改築整備にあたっては、こうしたこの地区の特性を踏まえ、周辺環境との調和を図る。





### ◆コンセプト

#### 赤れんが庁舎と調和しながらも独自性のある外観デザイン

- 1 背景として調和するデザイン
  - 高さを抑え、赤れんが庁舎正面からの景観に配慮
  - 本庁舎外壁の格子デザインを継承
  - 現議会庁舎に近い、白を基調とした外壁色を採用
  - 正面玄関前に、重厚さを感じる大きな庇を設置
- 2 開かれた議会庁舎の表現
  - 議場の特徴的な壁面を見せ、独自性を表現
  - 議場を、赤れんが庁舎正面から見える南側に配置
  - 食堂や道民ホールがある低層部にピロティを設け、開放感と新たな魅力を創出



◆外観イメージ（案）

	A案	B案
イメージ図	 	 
コスト	<p>（建設）</p> <p>（維持） ガラス面積が大きいため、B案に比べて冷暖房費が年間 15万円程度増加</p>	<p>（建設） A案に比べて 1,000万円程度安価</p> <p>（維持） 屋上部分が金属板のため、20年に1回程度、塗装の塗替費が 1,000万円程度発生</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>6階傍聴者ロビーの天井が高く、木質部分を広く見せる案</li> <li>木質部分が広く、議場の存在感が増す</li> <li>傍聴者ロビーが大きく感じられ、開かれた議会のイメージに即している</li> <li>赤れんが庁舎正面から見える議場は木立を表現し、前庭など周辺環境と調和している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋上に6階傍聴者ロビーの木質部分と同じデザインの金属板などを設置する案</li> <li>屋上の金属板が、議会庁舎の独自性を表現している</li> <li>議場のデザインが屋上で分断され、一体性に欠ける</li> <li>赤れんが庁舎正面から見える議場は特殊性があり、議会庁舎を強く印象づける</li> </ul>